

担い手育成特定資産事業 活用事例紹介 船渡 光男さん(久慈市)

執筆者 久慈農業改良普及センター 佐藤 陽菜

久慈市侍浜で雨よけほうれんそうを生産している船渡光男さんをご紹介します。

船渡さんは、東京で建築関係の仕事をしていましたが、「久慈地域の雨よけほうれんそうの発展に尽力したい」との思いから久慈市にUターンし、令和3年に就農しました。

船渡さんは就農にあたり、担い手育成特定資産事業の「新規就農スタートアップ支援事業」を活用し、1a の中古ハウス4棟を移設できたことから、ほうれんそう生産をスムーズに開始できました。

船渡さんよりも早く就農し、地域のリーダーとなっているお兄さんからの指導を受け、丁寧な栽培管理と年間の作付け回数を増やす工夫をすることで、自身も就農2年目にしてほうれんそうの高品質・高単収生産を実現しています。

今後ハウスを増棟する計画もあり、さらなる規模拡大にも意欲的です。

久慈地域のほうれんそう生産をけん引するリーダーとして、ますますの活躍を期待しています。



事業を活用して移設したハウス



船渡さんと、きれいに揃ったほうれんそう